

Web コンテンツの参考方法 Ver.2021/4/20

文責 國學院大學 経済学部 教授 小木曾道夫

1 まだ慣行が定着していないWebコンテンツの作成・参考

このリーフレットは、インターネットで公表されている HTML(Hyper Text Markup Language)ファイルや PDF(Portable Document Format)ファイルなどの Web コンテンツを参照・引用する方法に特化した「レポートのコツ」<http://www2.kokugakuin.ac.jp/~ogiso/manual/knack.pdf> の各論である。日本では 1950 年代頃から、書籍の最後の方に奥付をつくり、そこに、著者、発行年月日、書名、出版社などを明記する慣行が定着したため、奥付を見て参考文献リストを書く慣行が定着している。しかし、Web コンテンツの場合は著作権者や更新年月日を address エlement に明記するルールが定着していないし、参考文献リストの書き方も定型化されていない。

Web コンテンツを参考してレポートを執筆したり、レジュメを作成する場合には、本文を書くよりも前の、ブラウジングの時点から参考文献リストを作り始めることが肝心である。

2 参考文献リスト

インターネット媒体の Web コンテンツの場合、レポート、論文や報告レジュメの最後(の方)につける参考文献リストには、著作権者五十音順などで、つぎの項目を掲載する。

著作権者(更新年月日または更新年または公表年月日または公表年)「タイトル」、URL(Uniform Resource Locator)アドレス、閲覧年月日

1 つの文献 (= Web コンテンツ) は途中で改行しない。個々の文献の 1 行目は左インデントを空けずに、2 行目以降からは全角で 2 文字分空白 (もしくは左インデント) を空けることが望ましい。なお、更新年月日または更新年または公表年月日または公表年は最後、つまり、URL のあとでも構わない。なお、ここで、通常は巻末に掲載する参考文献リストの例を示す。

【参考文献】(※通常は巻末に掲載する)

凡例：本文中では(更新年不明)を「(?)」と略す。

総務省統計局(1996 年公表)「統計局ホームページ」<http://www.stat.go.jp/>、2021 年 4 月 20 日閲覧

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)「ホーム | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」<https://tokyo2020.org/jp/>、2021 年 4 月 20 日閲覧

一般社団法人 日本野球機構(2018)「NPB.jp 日本野球機構」<http://npb.jp/>、2021 年 4 月 20 日閲覧

3 HTML ファイルのソースの見方

前述したような参考文献リストをつくるためには、書籍であれば奥付に相当するところを見なければならぬ。そのためには、Web コンテンツが HTML ファイルならば、まず、HTML ファイルのソースを見る必要がある。

ブラウザが Microsoft Edge バージョン 90.0.818.42 (以下、「Edge」と略す)ならば、HTML ファイルの画像以外 (=文字や空白) の部分を右クリックすると、図 1 のドロップダウン・リストが開かれるので、[ページのソースの表示]を選択する

すると、ブラウザの下部に図 2 のような HTML ファイルのソースが表示される。図 2 には、総務省統計局(1996)の HTML ファイルのソースの最初の部分を例示した。



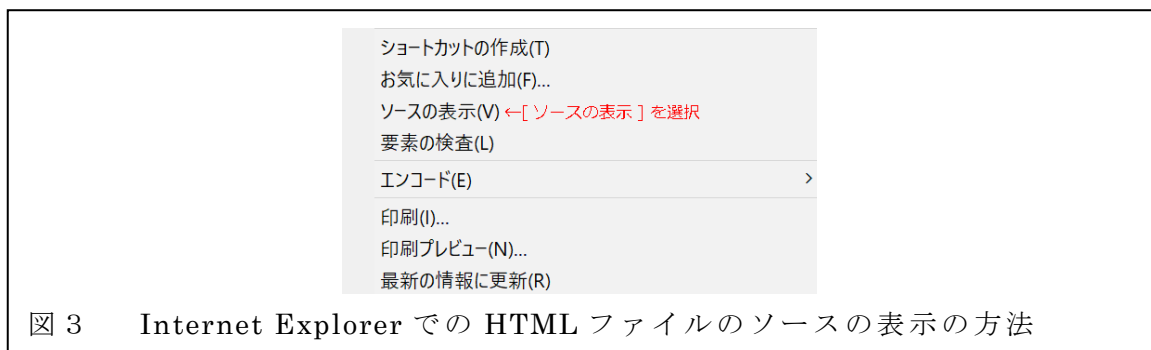
```

1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="ja">
3 <head>
4 <meta charset="Shift_JIS">
5 <meta http-equiv="x-ua-compatible" content="IE=Edge">
6 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1">
7 <meta name="format-detection" content="telephone=no">
8 <meta name="author" content="総務省統計局">
9 <meta name="description" content="総務省統計局、統計研究研修所の共同運営によるサイトです。国勢の基本に限
10 <meta name="keywords" content="総務省,統計局,政策統括官(統計基準担当),統計研修所,統計,調査">
11 <title>統計局ホームページ</title>
12 <link href="/shared2017/css/reset.css" rel="stylesheet" type="text/css" media="all">

```

図 2 Edge で表示した HTML ファイルのソース

HTML ファイルのソースを見るためには、ブラウザが Internet Explorer、Google Chrome、または、Safari ならば、HTML ファイルの画像以外 (=文字や空白) の部分を右クリックする。すると、Internet Explorer では図 4 のドロップダウン・リストが表示されるので、[ソースの表示] を選択する。その結果、HTML ファイルのソースであるプレーン・テキスト・ファイルが表示される。なお、Internet Explorer ならば、[メニューバー] の[ファイル]のドロップダウン・リストの[メモ帳で編集]を選択する方法もある。



4 著作権者

World Wide Web Consortium (以下「W3C」と略す)のガイドラインでは、HTML ファイルの著作権者は address エレメントで公開することになっている。なお、ブラウジングすると address エレメントはイタリック・フォントで表示される。また、address エレメントは HTML ファイルの最後の方に、著作権者名をローマ字で書く慣行がある。address エレメントで著作権者が明記されていれば、その著作権者を参考文献リストに書く。

しかし、困ったことに、HTML ファイルの作成者が、きちんと address エレメントで著作権者を明記していることは少ない。そこで、HTML ファイルのソース、または、ブラウジングしている画面から、著作権者名を探すキーワードとして「©」または「Copyright」を探すことになる。なお、HTML ファイルで著作権者が公開されている場合には、HTML ファイルのソースを見なくとも、ブラウジングするだけで著作権者を特定することができる。

総務省統計局(1996)は、HTML ファイルの最後の方に「©1996 総務省 (法人番号 2000012020001) 統計局」と書いているため、著作権者は「総務省統計局」とする。東京オリンピック・パラリンピック(?)は、HTML ファイルの最後の方に「©公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」と書いているため、著作権者は、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」とした。一般社団法人 日本野球機構(2018)は HTML ファイルの最後の方に「Copyright (C) 1996-2021 Nippon Professional Baseball Organization. All Rights Reserved.」と書いているため、著作権者は、英文の”Nippon Professional Baseball Organization”としても良いが、日本語の「一般社団法人 日本野球機構」とした。

小説などの書籍では、著作権者名は本名ではなくペンネームを使用することが多く、その場合はペンネームを著作権者名とする慣行がある。Web コンテンツで、本名ではなくハンドル名を公開している場合には、ハンドル名を著作権者名とする。もし、著作権者名を特定できない場合には、「著作権者不詳」もしくは「著作権者不明」として、参考文献リストの末尾に掲載する。

5 更新年月日または更新年または公表年月日または公表年および閲覧年月日

W3C のガイドラインでは、書籍ならば出版年月日に相当する、HTML ファイルの更新年月日は address エレメントで公開することになっている。HTML ファイルに更新年月日が明記されていれば、その更新年月日を参考文献リストに書く。更新年月日ではなく年だけが明記されている場合には、その年を更新年と判断する。更新年月日および更新年が明記されず、公表年月日が明記されている場合には公表年月日を書き、更新年月日および更新年および公表年月日が明記されず、公表年が明記されている場合には公表年を書く。また、「初出年-更新年」と明記されている場合には、「-」のうしろの年を更新年と判断する。なお、address エレメントなどで更新年月日・更新年が公開されている場合には、HTML ファイルのソースを見なくとも、ブラウジングするだけで更新年月日・更新年を特定することができる。

更新年月日または更新年または公表年月日または公表年は、「()」つまり、半角丸括弧で

括って表記する。また、月日を特定できる場合には、(2018/4/10)と半角スラッシュで区切るか、(2018年4月10日)と表記する。

しかし、困ったことに、HTML ファイルの作成者が、きちんと address エLEMENTで更新年月日を公開していることは少ない。総務省統計局(1996)は、HTML ファイルの最後の方に「©1996 総務省(法人番号 2000012020001) 統計局」と書いているため、「1996」が公表年であると推測し、巻末の参考文献リストは「総務省統計局(1996年公表)」とした。東京オリンピック・パラリンピック(?)は、HTML に更新年月日や公表年などを明記していないため、更新年不明と判断し、巻末の参考文献リストは「公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(更新年不明)」とした。一般社団法人 日本野球機構(2018)は HTML ファイルの最後の方に「Copyright (C) 1996-2021 Nippon Professional Baseball Organization. All Rights Reserved.」と書いているため、「2021」を更新年と判断した。

更新年月日を特定できない場合には、ブラウジングした閲覧年月日を参考文献リストの末尾に書く必要がある。ただし、更新年月日が公開されている場合でも、閲覧年月日を参考文献リストに書いた方がよいという慣行がある。

6 タイトル

W3Cのガイドラインでは、書籍ならば書名に相当する、HTMLファイルのタイトルは title エLEMENTで公開することになっている。title エLEMENTはHTMLファイルの前の方(=HTMLのヘッダー中)に置かれる。title エLEMENTで指定したタイトルは、ブラウザのタイトルバーに表示される。Title エLEMENTでタイトルが明記されていれば、そのタイトルを参考文献リストに書く。

タイトルは「」(全角のカギ括弧)で括って表記する。

多くのHTMLファイルの作成者は、タイトルをtitle エLEMENTで公開することは遵守している。ブラウザのタイトルバーに表示されるタイトルをコピーすることはできず、多くのHTMLファイルではタイトルに相当しそうな文字列や画像を独自のレイアウトで表示しているため、HTMLファイルのタイトルを特定するためには、HTMLファイルのソースを表示し方がよい。

図3では、HTMLファイルのソースの11行目にtitle エLEMENTがあり、この「<title>統計局ホームページ</title>」のタグ内の文字列をコピー&貼り付けて参考文献リストに書く。

7 URL

書籍の出版社に相当するものが URL(Uniform Resource Locator)である。URL はブラウザのアドレスバーに表示されるので、これをコピー&貼り付けて参考文献リストに書く。ブラウザのアドレスバー表示される URL は、コピー&貼り付けることができる。レポートや報告レジュメの参考文献リストや注に、URL しか書かないことは、当該の Web コンテンツの著作権者の著作権を否定したに等しい。

以上